

# 東アジア学会活動記録

【2001年】

◆ 日韓東アジア学会合同研究会 「東アジアの観光」

日時：2001年2月18日(日)午前9時30分～午後5時

会場：佐賀県嬉野温泉「和多屋別荘」会議室

共催：日本東アジア学会・韓国東アジア学会

協賛：嬉野温泉「和多屋別荘」・(財)釜山発展研究院・(財)国際東アジア研究センター

挨拶：日本東アジア学会会長 木下 悦二 (福岡国際大学学長)

韓国東アジア学会会長 林 正徳 (釜山発展研究院院長)

午前の部 共通論題研究報告・討論

座長：金 日坤 (宮崎産業経営大学教授)・趙 鳳彬 (筑紫女学園大学教授)

報告1. 「産業連関分析から見た九州観光の課題—長崎県佐世保市を事例として」

河村 玉 (中国工運大学元講師)

報告2. 「アジア・グリーンツーリズム・ネットワーク構想」

奥山 忠政 (紀全女子大学講師)

特別報告「東アジアの国際観光」

石井 幸孝 (九州旅客鉄道(株)代表取締役会長)

討論

午後の部 自由論題研究報告

座長：楼井 浩 (久留米大学教授)・朴 明欽 (釜山発展研究院前任研究委員)

報告1. 「韓国企業の物流情報システム活用に関する研究」

宋 啓義 (東西大学校教授)

報告2. 「北東アジアの中核都市」

工藤 憲男 (西日本経済研究所所長)

報告3. 「韓日自由貿易地帯の経済的波及効果分析」

高 鐘煥 (釜慶大学校教授)

座長：櫻井 浩 (久留米大学教授)・李 海珠 (福岡国際大学教授)

報告4. 「環黄海圏の自由貿易地域の協力体系構築」

朴 彰鎬 (仁川発展研究院研究委員)

報告5. 「Changing International Politics and Economic Cooperation/  
Competition in East Asia」

金 俊佑 (釜山発展研究院副研究委員)

報告6. 「アジアの通貨危機と現代の資本主義」

金 日坤 (宮崎産業経営大学教授)

閉会の辞

◆ 第11回大会

日時：2001年9月8日(土) 10:00～17:00

場所：西南学院大学Ⅱ号館8F大会議室

テーマ：「東アジア世界」の構図—歴史と国境を超えて—

午前の部

コーディネーター：安達 義弘 (福岡国際大学教授)

共通論題研究報告

報告 1. 「東アジアの基軸通貨」

工藤 憲男 (西日本経済研究所長)

報告 2. 「華人系資本のコーポレート・ガバナンス」

王 効平 (北九州市立大学教授)

報告 3. 「『環黄海経済圏』から『東アジア地中海経済圏』へ」

小川 雄平 (西南学院大学教授)

午後の部

コーディネーター：安達 義弘 (福岡国際大学教授)

共通論題研究報告

報告 4. 「現代中国文学史をどう見るか」

岩佐 昌暲 (九州大学大学院言語文化研究院長)

報告 5. 「アイデンティティとしての麺文化」

奥山 忠政 (アジア麺文化研究会事務局長)

全体討論

◆ 第 31 回定例研究会

日時：2001 年 11 月 17 日 (土) 14:00～16:30

場所：西南学院大学 II 号館 8F 大会議室

一般公開講演会

講演「中国・台湾の WTO 加盟と東アジア経済の一体化」

黄 枝 連 (香港浸会大学教授・アジア太平洋学会会長)

参加者：約 50 名